

質問 消防団は、地域の防災に
なくてはならないもので
あることから、消防団に期待
する役割と各分団の現況、団
員の充足率、待遇や報酬につ



柳澤 明 議員

消防団について

村に届けることが必要になつたり、市町村は、放課後児童クラブ事業の設備及び運営について条例で定めることが必要になった。

この法律の施行の予定は、平成27年4月とされており、本市においては、今回の児童福祉法の改正に対応すべく、ニーズ調査の速やかな実施により、ニーズの把握に努め、施設の設置者や運営形態の在り方について検討・整理を行い、関連条例等の見直しをするなど、法改正の施行日に合わせ、準備を進めてまいりたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)
・小町の館について

いて伺います。

消防 土浦市消防団は、1団本部5方面隊38個分団から構成され、現在542名の団員で組織されており、火災、地震等の災害防衛活動や防犯活動等を行っている。

昨年の消防団の活動状況は、火災出場等に、1年間に、延べ1千686個分団、1万8千768人が活動しており、地域とのつながりが強く、豊富な知識を有する消防団は、地域防災力を高める重要な役割を担っている。

本市の消防団員の充足率は86%となっており、団員確保として、ホームページへの掲載や地区長等による地区内の加入促進のほか、消防団協力事業所表示制度を導入し、消防団活動に配慮した従業員が入団しやすい環境づくりを図っている。

消防団員は、特別職の地方公務員であり、年額の報酬と出場手当等を支給するほか、消防団の運営補助金を支給しているが、報酬等の見直しについて、近隣の状況を調査し、消防団の状況を確認しながら、検討していきたいと考えている。

(掲載以外の質問事項)
・新市庁舎について

新市庁舎のコンセプトについて

質問 新市庁舎のコンセプトは、市民や来庁者の目線というものが主流になっており、本市の新市庁舎でも、ワンストップ方式の窓口サービスを行っているかどうか伺います。

市長 市役所の窓口は市民に与える影響が最も身近に行政と接する場所であり、より便利で、より丁寧な対応が求められることから、市では平成15年10月に市民課総合窓口を開設し、取り扱い業務の拡大、諸証明発行の迅速化、窓口配置の改善、フロアマネジャーの配置等を行い、市民サービスの向上を図ってきた。

今回の新庁舎移転を、事務改善の絶好の機会と捉え、特に、市民課総合窓口については、ワンストップ化を推進するため、目的の申請窓口への



白戸優子 議員

案内、申請書の記載補助、各担当への取り次ぎ等を行うコンシェルジュの導入について対応を図りたいと考えている。

先進事例の調査を行い、ワンストップ化を推進する総合窓口の再構築の検討を進め、さらに福祉関係各課の手續や相談がまとめて可能となるような福祉総合窓口の開設についても検討を進めている。

(掲載以外の質問事項)
・災害時要援護者支援協定について

小町の里リニューアルオープン後の集客策について

質問 ゆるキャラブームなので、つちまる君が小町の里周辺でハイキングとか、新治バスに乗っている等、つちまる君をもっと売り込んではどうか伺います。

産業 土浦市のイメージキャラクターであるつちまるを活用した商品は、観光協会においてつちまるのストラップ



鈴木一彦 議員

を作成し、好評を得ているので、間もなく、ぬいぐるみについても販売することとしている。

つちまるのイラストの活用については、どなたでも市に申請していただければ使用できる。これまでのところ民間の商業ベースに至ったというものは数少ない状況にあるが、経済効果は大きいという報道があるので、様々な形で活用できるよう、つちまるのPRと普及に努めていきたい。

つちまるの着ぐるみについては、市民等からの人気も非常に高いことから、新年度には、2代目のつちまるを作成する予算を計上している。

(掲載以外の質問事項)
・消防庁舎移転、斎場改築後の周辺道路整備計画
・専決処分の基準について

